

早稲田大学学生環境NPO

環境ロドリゲス



活動紹介



Since 1997

早稲田大学公認 環境ボランティアサークル

【理念】

学生が主体となって
多様なアプローチから
環境問題の解決に貢献する

活動内容



×教育

ecoSMILE



×海

うみさんぽ

活動テーマ

環境×○○○



×商品開発

Re-Cover



×地域活性

REC



×里山

やまなび



×早稲田

えこのわぐま

活動内容



×教育
ecoSMILE

小学生以下を対象とした環境教育
コロナ期間中は福井県鯖江市の小学生を
対象にオンラインイベントを実施。



×商品開発
Re-Cover

本来捨てられてしまうものから商品を開発
商品販売とともに環境について考えるきっかけを提供



×早稲田
えこのわぐま

早稲田に関するイベントでのゴミ分別指導
イベントが実施できない期間は、他団体と協
力した清掃活動を実施。



×里山
やまなび

千葉県君津市の里山でのフィールドワーク
東京での広報活動
→里山の活性化・魅力発信



×地域活性
REC

新潟県佐渡島へ赴き、地元の方のお手伝い
コロナ期間中は現地に行くことができません…



×海
うみさんぽ

海洋プラスチック問題の啓発や、それを意識
したゴミ拾い

未来に向けた提案・意見に向けて

持続可能な社会の実現には、**市民一人ひとりの意識の变革**が必要。

そのためには、環境イベントなどの「**啓発活動**」や「**効果的な政策の実施**」が重要。

環境ロドリゲスが実際に活動をする中で感じた問題意識、必要な啓発活動、学生団体と行政との協力について紹介していく。

うみさんぽ（環境×海）からの意見



問題意識

海洋プラスチック汚染を意識したゴミ拾い活動において
「街中に落ちているゴミの中でも、たばこの吸い殻が圧倒的に多い」
→「たばこの吸い殻を減らせば、街中のゴミの量を大きく減らすことができる」

改善のためにできること

たばこのポイ捨て防止に向けた啓発活動の強化
たばこの箱に吸い殻ケース
携帯灰皿のさらなる普及

えこのわぐま（環境×早稲田）からの意見



問題意識

早稲田周辺のごみ拾い活動にて
「たばこやペットボトルなどのポイ捨てが多い」

改善のためにできること

ゴミ箱の増設
→テロ対策、ゴミ回収の負担などの課題も

テロ対策→ゴミ箱を透明に
ゴミ回収の負担→若者の力を

ecoSMILE（環境×教育）からの意見



問題意識

福井県鯖江市の小学生を対象にしたオンラインイベントにて
「集客が難しく、参加者が思うように集まらない」
「サークルでの広報活動による集客には限界がある」

改善のためにできること

環境イベントの実施方法の見直し
今まで：各団体ごとに企画、集客を行っている。
改善案：行政と学生団体が協働で企画、集客を行う。

集客に行政が関与していただくことで、より多くの人に環境について考える機会を提供することができるようになる。

Re-Cover（環境×商品開発）からの意見



問題意識

普段の活動にて

「リサイクルやゴミ問題の現状などについて、活動をする上で知識が足りない」

「環境について学習する教材が少ない」

改善のためにできること

環境問題に関する知識について、誰でも体系的に学べる資料があると良い。

市民一人ひとりの環境意識の向上

学生団体の活動の質の向上

未来に向けた提案・意見（まとめ）

- ・ たばこのポイ捨て防止に向けた啓発活動の強化
- ・ ゴミ箱の増設
- ・ 環境イベントの実施方法の見直し
- ・ 環境問題に関する正しい知識について、誰でも学べる資料作り

行政

だからできること

連携

学生団体

だからできること

学生団体が行政に意見を伝える機会
行政と学生団体が意見をすり合わせる機会



ご清聴ありがとうございました。